

| | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|-----|
| グループ名 | ユニット名等 | 科 目 名 | 担当教員名 | 対象学年次 | 学 期 |
| 選択科目 | 2 単位 | 日本の文化財 | 高山有紀 | 1 年次 | 秋 |

| | |
|----------------|--|
| 授業のキーワード | 重要文化財（国宝）、世界遺産、地域と文化財 |
| 授業の概要・目的 | 奈良や京都の著名な文化財、群馬の文化財等を通して、文化財とは何なのか、どこが優れており、何のために保存されるのかについて学びます。めざましく変動する現代社会において、普遍的な価値は存在するのかを学習を通じて考えます。 |
| 履修のアドバイス・前提科目等 | 日本史の教科書や修学旅行で触れた数々の文化財について、改めて正しい知識を得ることができます。 |

授 業 展 開

| | テーマ | 内 容 | | テーマ | 内 容 |
|----------------------------|-----------|---------------------------------------|--|---------|---|
| 第 1 講 | はじめに | 授業の進め方について説明を行います。 | 第 9 講 | 中間のまとめ | 第 2 講から第 8 講までの学習をまとめます。 |
| 第 2 講 | 文化財の基本的知識 | 文化財に関わる基本的な用語の意味を学びます。 | 第 10 講 | 絵画、工芸品① | 絵画、工芸品① |
| 第 3 講 | 建造物① | 重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。 | 第 11 講 | 絵画・工芸品② | 重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。 |
| 第 4 講 | 建造物② | 重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。 | 第 12 講 | 書跡・古文書 | 重要文化財に指定されている文化財のうち、書跡・古文書を題材に学びます。 |
| 第 5 講 | 建造物③ | 重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。 | 第 13 講 | その他 | 記念物や景観など、その他の文化財について学びます。 |
| 第 6 講 | 建造物④ | 重要文化財や世界遺産に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。 | 第 14 講 | まとめ | 本講での学習を総括します。 |
| 第 7 講 | 彫刻① | 重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。 | 第 15 講 | 試験 | |
| 第 8 講 | 彫刻② | 重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。 | 評 価 方 法 | | 平常点（出欠席、授業への取り組み等）30パーセント、試験や課題についての評価70パーセント |
| 備 考 (関連する資格・試験等) | | | | | |
| 使用する教科書（必ず購入してください） | | | 参 考 文 献 | | |
| 教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。 | | | 三輪嘉六『文化財学の構想』（勉誠出版） 人見春雄ほか編『図解 文化財の見方―歴史散歩の手引』（山川出版社） | | |